

## PRIMERGY RX200 S3 記述の訂正とお詫び

このたびは、弊社の PRIMERGY RX200 S3 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本サーバに添付されておりますマニュアルに誤りがございました。ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

平成 19 年 1 月  
富士通株式会社

### 1 「PRIMERGY RX200 S3 ユーザーズガイド：B7FH-4351-01-00」についての更新・訂正

#### 1 章「1.1 RX200 S3 のご紹介」(関連ページ 16)

##### 訂正

誤)

PC2-4200F (DDR II 533 ) 仕様に準拠したメモリ (Fully Buffered DIMM) による Chipkill 機能をサポートしています。

正)

PC2-4200F (DDR II 533 ) および PC2-5300F (DDR II 667) 仕様に準拠したメモリ (Fully Buffered DIMM) による SDDC (Single Device Data Correction) 機能をサポートしています。

#### 2 章「2.1.1 内蔵オプションの取り付け」(関連ページ 46)

##### 訂正

表：LAN ケーブルを接続せずにインストール (開封) する場合

誤)

| 使用 OS  | 使用環境   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2003 x64</li> <li>・ Windows Server 2003<br/>(Service Pack 1 を適用する場合)</li> <li>・ SBS 2003 (Service Pack 1 を適用する場合)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Intel® PROSet をインストール[ 注 1]</li> <li>・ 10Mbps 半二重接続を行う</li> </ul> |

正)

| 使用 OS   | 使用環境   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2003 x64</li> <li>・ Windows Server 2003<br/>(Service Pack 1 を適用する場合)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Intel® PROSet をインストール[ 注 1]</li> <li>・ 10Mbps 半二重接続を行う</li> </ul> |

#### 2 章「2.2 インストール方法の選択」(関連ページ 49)

##### 訂正

構築済みの RAID 環境を残してインストールする場合 (関連ページ 49)

誤)

ガイドモードまたは事前設定モードでインストールを行い、[RAID/ ディスクウィザード] (「RAID とディスクの構成」画面) で、「論理ドライブの表示」を選択してください。

正)

ガイドモードまたは事前設定モードでインストールを行い、[RAID/ ディスクウィザード] (「RAID とディスクの構成」画面) で、「ディスクの表示」を選択してください。

**3 章「3.2.7 OS のインストール開始」 手順 3～5(関連ページ 84)**

**3 章「3.3.4 OS のインストール開始」 手順 5～7(関連ページ 92)**

**3 章「3.4.5 OS のインストール開始」 手順 4～6(関連ページ 101)**

**訂正**

誤)

**3 . OS の CD-ROM をセットするようメッセージが表示されたら、OS の CD-ROM をセットし、[OK] をクリックします。**

Windows 2000 Server / Windows Server 2003 / Windows Server 2003 x64 の場合

OS の CD-ROM (インストール CD-ROM) をセットしてください。

Windows Server 2003 R2 / Windows Server 2003 R2 x64 の場合

OS の CD-ROM (インストール CD-ROM) の Disc1 をセットします。Disc2 をセットするようメッセージが表示されたら、Disc1 を取り出し、OS CD-ROM (インストール CD-ROM) の Disc2 をセットしてください。

ファイルのコピーが行われ、終了後、ServerStart CD-ROM をセットするようメッセージが表示されます。

**4 . ServerStart Disc1 CD-ROM をセットして、[OK] をクリックします。**

ライセンス契約の画面が表示されます。

**5 . [同意する] をクリックします。**

ファイルのコピーが開始され、終了後、CD-ROM およびフロッピーディスクを取り出すようメッセージが表示されます。

正)

**3 . OS の CD-ROM をセットするようメッセージが表示されたら、OS の CD-ROM をセットし、[OK] をクリックします。**

Windows 2000 Server / Windows Server 2003 / Windows Server 2003 x64 の場合

**1 . OS の CD-ROM (インストール CD-ROM) をセットします。**

ライセンス契約の画面が表示されます。

**2 . [同意する] をクリックします。**

ファイルのコピーが開始され、終了後、CD-ROM およびフロッピーディスクを取り出すようメッセージが表示されます。

Windows Server 2003 R2 / Windows Server 2003 R2 x64 の場合

**1 . OS の CD-ROM (インストール CD-ROM) の Disc1 をセットします。**

ライセンス契約の画面が表示されます。

**2 . [同意する] をクリックします。**

ファイルのコピーが開始され、終了後、OS CD-ROM (インストール CD-ROM) の Disc2 をセットするようメッセージが表示されます。

**3 . Disc1 を取り出し、OS CD-ROM (インストール CD-ROM) の Disc2 をセットします。**

ファイルのコピーが行われ、終了後、CD-ROM およびフロッピーディスクを取り出すようメッセージが表示されます。

**4章「4.3.1 Windows Server 2003 x64 のインストール」 手順 5.3 (関連ページ 141)****訂正**

誤)

3. 以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Integrated Mirroring SAS RAID Controller Driver (Server 2003 for x64)

正)

3. 以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Fusion-MPT SAS Driver (Server 2003 x64)

**4章「4.3.2 Windows Server 2003 のインストール」 手順 5.3 (関連ページ 144)****訂正**

誤)

3. 以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Integrated Mirroring SAS RAID Controller Driver (Server 2003 32-bit)

正)

3. 以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Fusion-MPT SAS Driver (Server 2003 32-bit)

**4章「4.3.3 Windows 2000 Server のインストール」 手順 5.3 (関連ページ 147)****訂正**

誤)

3. お使いのカードにより以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Integrated Mirroring SAS RAID Controller Driver (Windows 2000)

正)

3. お使いのカードにより以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Fusion-MPT Driver for SAS1068 (Windows 2000)

### 5章「5.3.1 BIOS 情報の退避方法」(関連ページ 173)

#### 訂正

誤)

4 正常に BIOS 情報を退避できた場合は、以下のメッセージが表示されます。

NORMAL END

正)

4 正常に BIOS 情報を退避できた場合は、以下のメッセージが表示されます。

Success!

### 5章「5.3.2 BIOS 情報の復元」(関連ページ 174)

#### 訂正

誤)

4 正常に BIOS 情報を復元できた場合は、以下のメッセージが表示されます。

NORMAL END

正)

4 正常に BIOS 情報を復元できた場合は、以下のメッセージが表示されます。

Success!

### 5章「5.6.3 VLAN の設定手順」 手順 6 (関連ページ 196)

#### 訂正

誤) 6. 設定を適用するため、[適用]をクリックします。

正) 6. 設定を適用するため、[Apply]をクリックします。

### 5章「5.7.4 LAN について」 手順 4 (関連ページ 203)

#### 訂正

誤) 4. 「VLAN ID」と「VLAN 名」を設定して、[OK]をクリックします。

「VLAN ID」は、スイッチ側の設定と一致している必要があります。設定可能範囲は 1 から 4096 です。

「VLAN 名」は、スイッチ側の設定と一致している必要はありません。

正) 4. 「VLAN ID」と「VLAN 名」を設定して、[OK]をクリックします。

「VLAN ID」は、スイッチ側の設定と一致している必要があります。設定可能範囲は **1 から 4094** です。

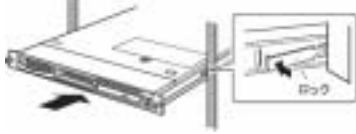
「VLAN 名」は、スイッチ側の設定と一致している必要はありません。

## 7章「7.2.1 トップカバーの取り外し手順」 手順7（関連ページ 237）

### 訂正

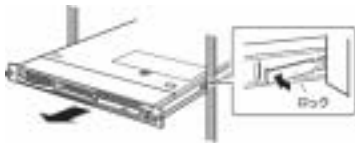
誤）

7. 左右のロックを**引き**ながらサーバ本体を少し引き出して、ロックを解除します。



正）

7. 左右のロックを**押し込み**ながらサーバ本体を少し引き出して、ロックを解除します。



## 7章「7.5.2 搭載可能な拡張カードと留意事項」(関連ページ 252)

### 訂正

基本カードスロット変換機構時  
表：標準搭載時搭載可能拡張カード

誤）PG-2861

正）PG-2861L

## 8 章「8.2.8 Advanced System Configuration サブメニュー」(関連ページ 285)

表：Advanced System Configuration サブメニュー画面の項目説明

### 訂正

誤)

| 項目              | 設定値  | 説明   |
|-----------------|--|--|
| Hyper-Threading | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Disabled (ご購入時)</li> <li>・ Enabled</li> </ul> | 1 つの CPU を論理的に 2 つの CPU として運用するかどうかの設定です。この設定を有効にすると、CPU の内部資源を有効に使用することにより、パフォーマンスが向上する場合があります。 |

正)

| 項目              | 設定値  | 説明   |
|-----------------|--|--|
| Hyper-Threading | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Disabled (ご購入時)</li> <li>・ Enabled</li> </ul> | 1 つの CPU を論理的に 2 つの CPU として運用するかどうかの設定です。この設定を有効にすると、CPU の内部資源を有効に使用することにより、パフォーマンスが向上する場合があります。 <b>この項目は CPU の種類によっては表示されません。</b> |

### 追加

Advanced System Configuration サブメニューの[Limit CPUID Functions]と[CPU Halt Mode]の間に以下の項目が追加となります。

| 項目                     | 設定値             | 説明   |
|------------------------|-----------------|--|
| CPU Thermal Management | Enhanced (変更禁止) | CPU の温度制御に関する設定です。この項目は CPU の種類によっては表示されません。 |

以上